

課題 1 の回答例

所見

- # 1 : 下顎右側臼歯（下顎右側 7, 8 番）部に境界不明瞭な X 線透過像があり。透過像は歯槽頂から下顎下縁骨皮質におよび、歯槽頂部並びに下顎管下では透過性が特に向上した領域を形成。下顎下縁骨皮質はひ薄化を示し、一部病的骨折の可能性を示す。下顎下縁骨皮質直下には骨膜反応を認める。病巣の遠心部から下顎枝中段と、病巣の近心部から下顎右側 5, 6 番部に及ぶ骨硬化所見を認める。
- # 2 : 下顎右側 3, 4, 5, および左側 2, 3, 4, 5, 7 番部の歯槽頂からの中等度の骨吸収を認める
- # 3 : 上顎右側 5, 6 番部上方に境界明瞭な X 線透過像あり。左側 4, 5 番上方にも同様所見あるも、右側では弧線状辺縁に囲まれており、右側上顎洞は上方に圧迫を示す。

その他、顎関節部や顎下部には特記所見を得ず

診断

- # 1 : 下顎右側臼歯部 下顎骨骨髓炎（MRONJ or BRONJ の疑い）
- # 2 : 残存歯部（下顎右側 3, 4, 5 番および左側 2, 3, 4, 5, 7 番部） 歯周病による骨吸収
- # 3 : 右側上顎骨内 嚢胞の疑い（術後性上顎嚢胞の疑い）

課題 2 の回答例

所見

- # 1 : 下顎左側 2 番下方から左側臼歯部を経て左側下顎枝前縁で下顎切痕の高さに及ぶ境界明瞭で弧線状辺縁を有する多胞様長円形の X 線透過像を認める。内部の濃度は比較的均一で、下顎管は下方に圧排を受けているが、骨皮質のひ薄化や骨膨隆は認めず。病巣の上縁は下顎左側 3, 4, 5, 6, 7 番部では根尖に接する。左側 2, 3 番の槽間中隔部では上方に陥入し、2, 3 番は歯根離開を示すも、歯根吸収は認めず。8 番は歯冠を近心に向け上方に圧排を受け、歯槽頂に近接。
- # 2 : 上顎左右 8 番は歯槽骨から萌出するも低位。歯冠周囲骨は吸収を示す
- # 3 : 下顎右側 8 番は歯冠を近心に向け埋伏。歯冠咬合面は 7 番の遠心面に接触。歯槽頂の一部は吸収し、歯は移動の拡大所見あり。根尖は下顎管に近接。

その他、上下歯槽部および顎関節部、上顎洞、顎下部に特記所見を得ず

診断

- # 1 : 下顎前歯部から左側下顎歯部 歯原性角化嚢胞
- # 2 : 上顎左右 8 番 智歯周囲炎
- # 3 : 下顎右側 8 番 水平埋伏智歯